

# 第10回人間科学研究フォーラム

## 概要

人間科学部では、「人間」にかかわる研究を進める他学部、センター等の教員及び地域の自治体・企業・施設等と連携した研究体制を構築することにより、地域で生活する人々がかかえる様々な問題の解決に向けて研究活動の活性化を推進するため、「人間科学研究フォーラム」を開催することとしています。昨年に引き続き、会場とオンラインのハイブリッド開催で行いました。2021度から新研究科の人間社会科学研究科が開設しており、今回も法文学部山陰研究センターのご協力をいただいたの開催となりました。

第10回目の今回は「脳と心と加齢発達～高齢化社会に向けた社会的つながりの意義～」という共通テーマで基調講演、話題提供をいただきました。

はじめに、京都大学名誉教授の積山薫先生から、「脳と心の可塑性：健やかな成長と老いに備えて」と題して基調講演をいただき、環境に適応する脳のメカニズムとそれによって心の働きは可塑的に変化すること、さらには高齢期に備える幼少期からの過ごし方として、認知症への抵抗力となりうる若いうちからの脳刺激を中心にご講演いただきました。

次に、人間科学部及び法文学部の教員により、これまで行ってきた研究に関する発表が行われました。

人間科学部心理学コースの豊島彩講師からは、「高齢期の心理的孤独と孤立 — 孤独な時間を好む高齢者について」と題し、高齢期における社会的孤立と心理的孤独、さらには近年の研究から明らかになりつつある孤独な時間を好む高齢者について発表していただきました。

法文学部社会文化学科の福井栄二郎准教授からは、「文化人類学からみた高齢者——社会と関わる、社会から離れる」と題し、高齢者の地位や位置づけを変化させる近代化の中で、ヴァヌアツの人々の「老いの物語」の例から今後の社会における高齢者の位置づけ、価値について発表いただきました。

## 記

日時：令和6年7月29日（月） 14：00～17：00  
会場：島根大学松江キャンパス 教育学部棟 35番教室  
（同時にZoomによるオンライン開催）

テーマ：「脳と心と加齢発達～高齢化社会に向けた社会的つながりの意義～」  
基調講演

「脳と心の可塑性：健やかな成長と老いに備えて」

京都大学名誉教授（所属：京都大学野生動物研究センター） 積山 薫 先生

話題提供

1. 「高齢期の心理的孤独と孤立 — 孤独な時間を好む高齢者について」

島根大学人間科学部心理学コース 豊島 彩 講師

2. 「文化人類学からみた高齢者——社会と関わる、社会から離れる」

島根大学法文学部社会文化学科 福井 栄二郎 准教授